令和4年度

学校評価（年間評価）＜数値評価＞

質問はMicrosoft Formsを利用して行います。

《評価の仕方》次に揚げる項目について観点別に自己評価し、該当数字をつけて下さい。
《評価の基準》　4・・良い　　3・・やや良い　　2・・やや悪い　　1・・悪い
※ 個人のことではなく、学校や学年全体を対象とした評価をお願いします。

項　目	NO	評　価　の　観　点	評価
教育目標	1	学校教育目標「自主・自立をめざす生徒」を意識して、指導に当たったか。	
	2	校長の経営方針について、学校・学年として、共通理解を図り、取り組めたか。	
指導計画	3	授業時数は、バランスよく確保できていたか。	
	4	教育指導計画は、予定通り実施できたか。	
校務分掌	5	各分掌が活発に機能し、組織として全体で校務にあたったか。	
学級学年経営	6	計画的かつ実情に応じた学年・学級経営が進められたか。	
	7	教室環境の整備に努力がなされたか。（教室掲示の工夫、きれいな教室の維持等）	
	8	家庭や保護者との連携を十分とりながら指導に当たったか。	
	9	一人ひとりの生徒との対話を図ったり、一声かけたりするように意識したか。	
学習指導	10	生徒が進んで学べるよう、良い授業のアンケートの質問項目を意識し、授業の改善に努めたか。	
	11	学習指導にICT機器を効果的に活用できたか。	
	12	基礎的・基本的内容を身に付けさせるような工夫改善がなされたか。	
	13	開始時間、終了時間を守り、規律ある授業が進められたか。	
特別の教科「道徳」	14	生徒の実態把握に基づき、教科書を計画的に活用して授業を実践したか。	
	15	具体的な状況を見取り、生徒の成長を積極的に受け止め、励ます評価を行ったか。	
総合的な学習	16	探求的な課題解決に向けた資質や能力の育成が図られたか。	
特別活動	17	個性の伸長が図られ、集団生活の向上が図られるような指導がなされたか。	
生徒指導	18	生徒指導の基本である「教師と生徒との信頼関係」の構築に努力したか。	
	19	職員間で共通理解が図られ、共通行動をとるように努めたか。	
	20	非行や問題行動、いじめ、不登校等の解決に向けた指導が積極的になされたか。	
教育相談	21	学級や学年の生徒のちょっとした変化や悩みなどの早期発見・早期対応を心掛けるとともに、適切に緊急対応ができたか。	
	22	さわやか相談員・スクールカウンセラーと積極的に連携が図れたか。	
人権教育	23	人権教育について理解し、日々の指導に当たったか。	
進路指導	24	生徒が自分の生き方について考えることができるように、授業の中で工夫して進められたか。	
学校安全	25	交通安全や事故防止に対する指導を継続的に行ったか。（学活、帰りの会等で）	
	26	安全点検を毎月または日常で実施し、施設の安全管理を十分に意識して行ったか。	
学校保健	27	朝（始業前）、授業、部活動等、様々な場面で健康観察を行い、心身の健康状態を把握できたか。	
	28	保健だより等を活用して、健康安全的な保健指導を行うことができたか。	
	29	教科指導、清掃、部活動等で感染症対策（消毒、検温確認、手洗いの呼びかけ、3密回避等）に取り組むことができたか。	
給食指導	30	始まりと終わりの時間が守られるように指導がなされたか。	
	31	給食時の服装や手洗いの励行など、衛生面の指導を折に触れて行ったか。	
清掃指導	32	清掃指導、清掃後の点検が適切に行われ、清掃場所は常に清潔に保たれたか。	
部活動指導	33	時間を守り、生徒の安全に留意して指導を行ったか。	
職員会議	34	開始時間は守られたか。	
	35	議案に対して、運営委員会に置いて建設的な意見を出すように努め、議事の進行に協力ができたか。	
校内研修	36	校内研修の今年度の課題を理解し、意識して日々の授業を行ったか。	
施設設備	37	鍵の管理や備品、危険物の管理が適切であり、戸締まり、施錠がしっかりとできたか。	
	38	備品の所在、数量、使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	
学校図書館	39	学校図書館は生徒が利用しやすいように計画的に運営されたか。	
教職員の服務	40	ゆとりをもった出勤がなされ、服装、言葉遣い、挨拶等は適切に行えたか。	
	41	勤務時間を意識した働き方や、業務改善に取り組んだか。	
	42	校長、教頭、主任等への報告、連絡、相談は適切に行えたか。	
	43	現金等の扱いや、公金の会計事務、保管には、細心の配慮を行ったか。	
学校事務	44	出勤簿は毎朝、旅行命令簿は事前に、押印・提出がされたか。	
	45	タイムカードを出退勤時に打刻したか。	
	46	職員室内の整理整頓、机上の整理等はできたか。	
特別支援教育	47	教員間において、特別支援学級と通常学級との連携（学年間の情報共有、発行物の配付など）が図られたか。	
	48	学校全体の協力体制のもと、特別支援学級と通常学級との交流学習などの教育実践が行われたか。	
	49	全ての学級で、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、個々の生徒の状況に応じた取り組み（教材、掲示物など）が行われたか。	

障害の有無や能力差を問わず誰もが安全で快適に利用できるデザイン